

沖縄科学技術大学院大学（OIST）の教育研究に関する質問主意書

提出者 下地 幹 郎

## 沖縄科学技術大学院大学（OIST）の教育研究に関する質問主意書

沖縄科学技術大学院大学（OIST）は、沖縄において世界最高水準の教育研究を行うことにより、沖縄の振興と自立的発展及び世界の科学技術の発展に寄与することを目的として平成二十四年に開学した。OISTは、「経済財政運営と改革の基本方針二〇一九」において沖縄振興策の一つとして位置付けられるとともに、私立大学でありながら沖縄振興の観点から国が特別な財政支援を行うこととされており、令和二年度の沖縄振興予算においても二百三億円が計上されている。

しかし、このように巨額の国費を投じたOISTの研究の成果が一体どのようなように沖縄振興に貢献し、人々の生活に活かされているのかは全く見えてこない。沖縄県の経済は依然として全国最下位の一人当たり県民所得や全国平均の二倍にのぼる子どもの貧困率などの問題を抱えているが、令和二年度の沖縄振興予算では、教員と生徒を合わせて在籍者五百名程のOISTに二百三億円が投じられるのに対し、子供の貧困問題に投じられる予算はわずか十四億円である。OISTの貢献を明確に示すことができなければ、沖縄振興という名目でOISTにこれだけの巨額の国費を投じる理由について、国民や沖縄県民に対し説明がつかない。

については、OISTの運営体制やその成果、沖縄振興への貢献につき、次の事項について答えられたい。

一 OISTは、沖縄において世界最高水準の教育研究を行うことにより、①沖縄の振興と自立的発展、②世界の科学技術の発展に資することを目的として設置されたと承知している。このうち①について、OISTの設置が、どのような効果をもたらして「沖縄の振興と自立的発展」に寄与すると考えるか、政府の見解を示されたい。

二 OISTの組織体制について、OISTの設置目的である「沖縄の振興と自立的発展」を達成するための専門部署が設置されるべきと考えるが、設置されているのか。また、設置されていない場合は、専門部署が設置されていないことの原因及びそれに対する政府の見解を示されたい。

三 OIST教員の採用基準について、政府として把握している基準を示されたい。もし、基準を把握していない場合は、その理由を示されたい。

四 OISTの研究ユニットに対する評価制度について、政府として把握している内容を示されたい。把握しているならば、①研究ユニットの新設・廃止に関する基準、②研究ユニットへの研究資金配分額の決定方法、③研究資金の増額・削減に関する基準、④評価期間、⑤評価体制（特に、客観的な研究実績の評価

を行うための外部有識者等による第三者評価の活用方法）などについて、簡潔な概要があるならば、示されたい。

五 OISTにおけるハラスメントについて、平成三十一年三月三十日付地元紙の報道によれば、学内有志による意識調査において、パワーハラスメントについて回答者の五十八%が「自身が被害に遭った」、八十五%が「被害に遭った人を知っている」と、セクシャルハラスメントについては回答者の十一%が「自身が被害に遭った」、四十一%が「被害に遭った人を知っている」とそれぞれ回答したとする一方、自身や他者のハラスメント被害を大学当局に通報したのは十九%にとどまり、「苦情申し立て手続きが機能していない」ことなどをその理由としていたとしている。

この報道に関連し、①同意意識調査の内容、②報道が指摘しているOIST当局が同意意識調査を「フィッシング詐欺」として回答しないよう全学に呼び掛けた事実、③教職員組合の結成及びOIST当局と同組合との交渉等の状況、④OISTによる「職場環境についての独立したアンケート調査」の実施状況（OIST「OISTにおけるハラスメント等に関する一部報道について」（平成三十一年四月二日）に掲載されているもの）、⑤ハラスメントへの対応を担当する組織の設置状況について政府の把握していること

ろを示されたい。また、本件に関し、政府からOISTに求めた対応等があれば、その内容を明らかにされたい。

六 OISTのこれまでの実績として、政府が把握している代表的な成果を挙げられたい。なお、それについて、①学術的な評価、②OISTの設置目的である「沖縄の振興と自立的発展」への寄与の有無について、簡潔な概要があるならば、示されたい。

右質問する。